

# 我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立平野小学校

## ○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 【結果について】

### 《概要》

国語・算数ともに平均点が高く、概ね良好な結果である。「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力」について、ともに高い数値を示している。また、質問紙調査では、全国や滋賀県の状況と比較して、情報活用能力・自尊感情についてよい傾向を示している。家庭・地域と連携を図りながら進めている日常的な教育活動の成果が現れていると考えられる。一方で、学習意欲の面で課題が見られた。日々の指導を充実する中で、子どもたちの学習意欲を喚起していきたい。

### 《本校の強み・弱み》

- 国語・算数ともに全国平均を上回っており、概ね基礎学力が身についていると言える。
  - 授業でICT機器をよく利用していると回答している比率が非常に高い。
  - 自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができたと回答している比率が高い。
  - 授業や学校生活において、友だちや周りの人の考えを大切にして、協力し合いながら課題の解決に取り組んでいると考えている児童の比率が高い。
  - 先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答した児童の比率が高い。
- 
- 国語・算数の学習が好きだと回答した児童の比率が低い。
  - 学級会で話し合い、解決方法を決めていると回答した児童の比率が低い。
  - 将来の夢や目標をしっかりと持っていると回答した児童の比率が低い。

### 指導の充実に向けて

- 学校教育目標「かがやけ平野の子どもたち」～人と関わり学べ！遊べ！平野にときめけ！～を念頭に、今後も地域社会と連携した教育活動を継続していくことで、平野を愛する子どもたちを育っていく。
- 授業でICT機器をよく利用していると回答している比率が高いだけでなく、情報の収集・整理・表現といった情報活用能力が高いことが本校の強みとして明らかになった。国語や算数だけでなく、あらゆる教科において、ICT機器を効果的に活用し、学習意欲の喚起と学習活動の充実につなげていく。
- 国語科の勉強が好きではないと回答している児童が多いことを踏まえ、自分の考えを文章にすることへの楽しさを感じたり、人との関わりや体験を通してコミュニケーション能力を高めたりする授業の改善に取り組む。また子ども同士で物事を解決するための話し合いの機会をより多く設定する。